



2017-18年度基本方針 会長 水本由幸



初めに前会長の北口さん、前幹事の川口さん、理事役員の方々に前年の活動についてお礼を申し上げます。

北口さんの軽妙な会長挨拶には毎週感心致しました。

そしてクラブの理想を高く持ち、常に目標を達成しているかを反省する会の運営は、北口さんの経営手腕を見る思いでした。川口さんにはよく会長を補佐され、クラブのまとめ役としての大任を果たされお疲れ様でした。いうまでもありませんが、ロータリーの奉仕活動はクラブが明るく元気で楽しくなければ活動できません。いずれの年度も同

様ですが今期も会員間の和に留意し、親睦に力を注ぎたいと思います。委員会毎の今までの継続事業がありますが、それぞれの事業がより発展した形での活動となるようにし、その活動を通して地区方針でもある「ロータリーの公共イメージと認知度の向上」を目指します。幸いに当クラブにはメディア企業に所属されている会員が2名おられます。今まで通りのご協力をお願いいたします。楽しい例会を心がけ、また時宜に即した外部卓話、会員間のつながり、和に資する会員卓話を設けます。出席率の向上を目指し、(スポンサー会員からの働きかけをお願いします。) 前期同様全員出席例会を、年2回実施します。残念ながらやむを得ない様々な理由で退会者が続き会員数が減少していますが、何とか退会に歯止めをかけ、純増2名を達成しようと思います。会員増強は当クラブの急務であり、当初特別な機関を設けようと考えましたが、最終的に紹介による1本釣りしかないと結論しました。新会員にふさわしい人物の情報をお知らせください。又会員の高齢化も進んでいますので、特に若い人の入会を図りたいと思います。

女性会員の件ですが、いろいろ異論もあると思いますが、あらゆる場面での女性の参加は時の流れです。或るチャーターメンバーの方から、転勤者の後任が女性の時はどうするの?と云われて驚きました。女性の入会の道筋だけは付けようと思います。(入会者がおればなおいいのですが) 親睦活動は長崎西クラブの特長です。前期は親睦活動委員長はじめ委員の皆さんの努力で、特に観月例会、観桜例会、賀寿会と盛会でしたが、今期も年1回は夫人同伴例会を予定していますので、ご協力をお願いします。西会を前期同様年4回実施し、会員間の親睦を深め、併せて会員歴が浅い方へロータリー情報を提供します。又西会、諸行事に会員歴の浅い方の参加が少ないような傾向が見られますので、親睦をはかるため積極的に参加できるよう工夫します。

青少年奉仕委員会は、当クラブの伝統ある看板事業です。青少年委員会、インターアクト委員会の事業にはより充実した発展を期したいと考えます。過去会員数が最も多かった年度は83名でしたが、今期は50名からのスタートです。長崎西ロータリークラブは過渡的な時期の状態にあるのではないかと思います。大変な時期に会長をすることになりましたが、30数余年クラブの諸先輩が築いてこられたこれまでの伝統、歴史を受け継ぎより発展させることに努力いたします。歴代の会長はよくクラブを「船」に例えられましたが、私1人だと「泥船」ですぐ沈むでしょうが、深堀幹事又優秀な理事役員がおられます。何より会員の皆さんがおられます。

戦艦武蔵とまではいかないでしょうが、佐世保港の駆逐艦ぐらいのつもりで出発したいと思います。なにとぞ皆様のご協力をお願いいたします。

ロータリー財団への寄付目標	1人	120ドル/年
米山記念奨学会への寄付目標	1人	13,000円/年
ニコニコ目標		150万円





幹事並びに理事役員新年度のご挨拶



【幹事 深堀俊一】

幹事の仕事というのは、会長が今たくさんの方の所信表明をされましたが、その補佐をするのが役割だと思っております。その中でも大事な事は、思いの部分を通じ、会員の皆様を通じ、全体を活性化させると言うのが一番いいことではないかと思います。出席率の問題もありましたが、幹事を含め、理事を含めて、お互いに出席していない方へのアプローチを出来るだけ努めたいと思います。さらに出席率が上がってくると賑わいが増え、そして楽しい西クラブになるかと思います。そういう決意をしております。一生懸命やりますので、手を携えて一緒に歩いていきたいと思っております。

何年かぶりにSAAのタスキをしております。メンバーを見ていただきますと、田中先生、島田さん、江上先生、嶽本さんです。水本会長はこの重鎮3人によくタスキをかけさせたとあきれております。小さくなってこの3人をお願いをしながら、会長からはとにかく明るく楽しい例会にしてくれと言われておりますので、親睦委員会と連携を取りながら運営していきます。特にお願いをしたいのは、素晴らしい卓話者を探してきて頂きますが、特に外部卓話の時は30分の卓話時間の確保をして頂きたいと思ひ、場合によっては委員会報告等会報での通達になると思いますが、よろしくお願いいたします。



【SAA 日高豊久】



【会長エレクト 川瀬隆史】

会長エレクト担当のクラブ奉仕委員会ですが、今日中田さんから「今日がスタートですから、よく勉強して下さいね」と言われ、その覚悟をしております。私は無役になりましたので、来年のこともありますので、これからは頻繁に事務局を訪れ、どういふことをやるのか少しずつ身につけて行きたいと思っております。また会員増強についても会長からプレッシャーがかけられましたが、色々と考えながらサポートできればと思っております。ただ私も年齢が高くなりましたので、山田幹事エレクトにお世話になることもあると思いますが、少しでも皆様のお役にたてればと思っております。



【職業奉仕担当理事 西 義光】

クラブ奉仕委員会は4つの委員会がありまして、クラブ運営に於いて重要な位置づけと思っております。出席委員会、親睦活動委員会、プログラム委員会、クラブ会報・記録保存委員会となっております。とにかく明るく楽しくスムーズな運営に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

職業奉仕委員会は、職業奉仕委員会、ボランティア情報委員会の2つの委員会です。今年度の職業奉仕委員会の方針といたしましては、「職業奉仕とは何か、その理解を深めロータリー活動の意義を確認する」となっており、ボランティア情報委員会の方針では、「地域におけるボランティア活動の支援及び広報を行う」この2つの方針を皆様と一緒に達成したいと思っております。



【クラブ奉仕担当理事 寺坂基幸】



【国際奉仕担当理事 平山寿則】

私はロータリー歴も浅く、社会奉仕委員会も理事も初めてなので、まずは諸先輩の指示をいただきながら、漏れが無いようにしっかり対応していきたいと思っております。当委員会は継続事業のマリア園の毛布クリーニングや桜の植樹等、大変意義の深い事業を抱えている委員会だと思っております。2人の委員長と連携を取りながら着実に取り組んで行こうと思っております。

国際奉仕委員会理事の平山です。世界社会奉仕委員会では、アバディーンとの交換留学が休止中ですので、何らかのコンタクトを江上先生を中心に行きたいと思っております。ロータリー財団と米山記念奨学委員会では、それぞれの活動内容を理解して頂き、寄付をお願いしたいと思っております。ロータリー財団への寄付目標は、1人120ドル/年。米山記念奨学会への寄付目標は、1人13,000円/年と西クラブの目標設定が有りますので、よろしくお願いいたします。また、特にサラリーマンの方は寄付をすることによって税金の還付を受けてもらいたい。特定寄付金に該当し、寄付金控除または税額控除の有利な方を選ぶことが出来ます。



【社会奉仕担当理事 中村一成】



【青少年奉仕担当理事 山口健太郎】

青少年奉仕委員会では、青少年委員会、インターアクト委員会の2つからなります。方針といたしましては、例年通り青少年委員会とインターアクト委員会の連携を強め支援活動、奉仕活動に力を入れます。青少年委員会では、児童養護施設と連携を図りながら、定期的な活動支援の実施。インターアクト委員会に関しては、海星高校IAC例会への参加と奉仕活動への支援となります。先輩方のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。